

がんと闘い、共に生きる人を支える 〈患者・家族総合支援センター 暖だんについて〉



社会で支える
がんとの暮らし



灘野 成人

国立病院機構 四国がんセンター
患者・家族総合支援センター部長
(専門 肝胆膵内科)

♡ 暖だんとは

「患者・家族総合支援センター整備事業」として、都道府県診療連携拠点病院である四国がんセンター内に開設されました。運営の基本方針において「がん患者さんやその家族の多様なニーズに応え、その人らしい生活ができるよう支援します」を掲げ、がん患者・家族などへの支援活動に取り組んでいます。谷水正人名誉院長が初代センター長として開設し、2023年6月23日に10周年を迎えます。

「暖だん」という愛称は、開設時に患者さんや家族、地域のみなさんから公募し、その中から愛媛の方言「ありがとう」と「だんだん暖かくなり心が元気になる」の意味を込めて選ばれました。「患者さんや家族のみなさんが自分らしさを取り戻し、新しい自分を発見でき、がんという病気になっても一歩ずつ歩いていくことができる」場所でありたいと皆さんと共に成長してきました。

不安などいろいろな思いを治療の経験がある仲間とお話することで、「勇気を出して来てみて良かった。少し踏み出す一歩になった」という感想は開設当時から多くいただいています。セミナーは、ご自宅から参加してもらえるオンラインでも開催しました。

AYA世代の患者支援の1つには、「がん患者を家族に持つ子どもの支援」があります。チャイルドケアプロジェクトとして院内の心理療法士が中心になり多職種のスタッフが子どもの支援に取り組み、毎年夏休みには同じ立場の子ども(小学4年生から6年生)同士で学び合う教育プログラム「キッズ探検隊」を実施してきました。同時に、親のサロンを開催した時は、同世代の悩みや子どものこと、経験などを共有する貴重な機会となりました。2021・2022年度はオンラインでの開催となりましたが、来年度は集まって開催できれば嬉しいです。

♡ 治療と仕事の両立支援

がん患者さんにとっても大事な生活の一部であるお仕事への支援について、病院では治療と仕事の両立支援として、医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなどが積極的に患者さんや職場と連携をとって患者さんらしく職場復帰ができるようサポートを行い、一方、暖だんでは、お仕事を辞めずに続けたい患者さんをサポートするために、専門家による2つの出張相談を実施しています。愛媛産業保健総合支援センターの両立支援促進員(社会保険

労務士)による出張就労相談では、休みの取り方や会社との交渉の仕方など、ハローワーク松山・就職支援ナビゲーターによる出張就労相談では、再就職や退職を考え悩まれている患者さんがアドバイスを受けることができます。

♡ 患者さんとご家族の方へ

暖だんでは、以上のようにがん患者さんや家族が治療だけでなく生活で直面する困りごとや辛さに対し、情報提供やサポートを行うことは勿論ですが、ほっと落ち着く安らぎの場を提供できるよう、医療者とボランティア、ピアサポーターが協力しながら活動をしています。木のぬくもりを感じることができ、暖かい光が差し込む「憩いのひろば」で、みなさんをお待ちしています。外来の待ち時間でも、今は面会ができない入院患者さんの憩いのスペースとしても利用ができ、午前是一般の方や外来患者さんと家族、午後は入院患者さんのみご利用できるように、時間帯を分けています。誰でもご利用できますので、どうぞお気軽にお越しください。

毎週水曜日	就職相談(ハローワーク松山)
第一金曜日・第三水曜日	就労相談(愛媛産業保健総合支援センター)
第三木曜日	ひまわりサロン(ピアサポーターと語り合い)
月4回程度	セミナー(「外見変化への対処法」など) ふれあいサロン



♡ 活動について

感染症対策を実施しながら、暖だんボランティアによるぶちコンサートやセミナー、ピアサポーターの派遣を受けて語り合いのサロン「ひまわりサロン」を開催しています。疑問や



独立行政法人 国立病院機構

四国がんセンター

愛媛県がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療拠点病院

〒791-0280 松山市南梅本町甲160番 ☎089-999-1111